

## 福祉まつり参加

12月6日(日)、銚子市市民センターを会場にして、第31回銚子市福祉まつりが開催され、しおさいも参加しました。

今年は、主催者が関係者等に配布するパンの注文数が少なかったのですが、それでも三崎の職員が午前3時に出勤して、約600個のパンと50個の弁当を製造しました。

式典や表彰式の後、午前10時10分から販売が始まりましたが、例年通りドッと市民が押し寄せ、しおさいのコーナーにもパンやクッキー、弁当を購入して下さいました。また、しおさい春日の布製品販売コーナーでも、多くの方々が色とりどりの布製品やマスコット人形など、気に入ったものを買って求めていました。購入して下さいました皆さんありがとうございました。



▲販売に大忙しのメンバー



▲いらっしゃいませ～！！



▲どれにしようかしら



▲笑顔で接客中！



## 避難訓練実施



▲机の下へ避難

12月11日(金)、しおさい春日・のぞみ合同で、地震避難訓練を行いました。

訓練は前回同様、気象庁のHPに掲載されている「緊急地震速報対応行動訓練映像」の音声を使用し、①緊急地震速報発令、②地震発生、③机等の下へ避難、④地震が収まった後に外へ避難 という手順で行いました。尚、この日は雨天だったため、中庭ではなく玄関ホールへ避難しました。

訓練の最後の講評では、のぞみの加瀬理事長が“今日の訓練はそれなりに行動がとれていた”と述べた上で、①地震の際は頑丈な机の下へ入る。②裸足で外へ出ない。③しおさいやのぞみにいる時に地震が発生した時は職員の指示に従い、自宅にいる時は、近所の人々の力も借りて避難する。④大地震の際は、津波が来る恐れがあるので、高台へ避難する。と話されました。



▲加瀬理事長による講評



▲講評を聴く春日メンバー

# 「交流餅つき大会」が行われました

12月17日(木)、ナルク銚子主催による恒例の「交流餅つき大会」が行われました。会は2部構成で、まず、しおさい、のぞみのメンバー・職員とナルク銚子の会員が、歌やゲームを楽しんで親睦を図りました。続いてはおまちかねの餅つきで、地元日刊紙の報道によれば、今回はもち米を30kgから40kgに増量したとのことで、セイロで蒸した米を2台の臼と杵でつきあげて行きました。

つきあがった餅は、お雑煮、あんこ、からみにして皆で美味しく頂きました。また会場では、これも毎回用意して下さっているポップコーンマシンで作った、出来立てのポップコーンの配布も行われていました。ナルク銚子の皆さんありがとうございました。



▲会場の様子



▲美味しく頂いています！！



▲餅つき準備中にパチリ！



▲満足の笑顔



## クリスマス会 開催



12月24日(木)、しおさい三崎でクリスマス会(冬のメンバー交流会)を開催しました。会食後、ビンゴ大会やアンパン、カレーパン、メロンパンの3チームによるグループ対抗のゲーム(ビー玉運び、的当てゲーム、箱の中身なあに、テープ切り競争)、カラオケをして楽しみました。

「箱の中身なあに」では、中に入っている物の手触りに妙なりアクションを取ってしまう人や中々当てられない人がいたりして、参加者の笑いを誘っていました。



▲施設長あいさつ



▲ビー玉運び



▲テープ切り競争

### ～編集後記～

いろいろな面でお世話になっているハローワーク銚子(銚子公共職業安定所)と銚子労働基準監督署が、1月12日から銚子市中央町(東京電力 銚子営業センターと白幡神社の裏)に建設していた4階建ての「銚子労働総合庁舎」で業務を開始しました。ハローワーク銚子はふれあい面接会や求職及びパンの販売などで、銚子労働基準監督署は職員の労働保険関係でつながりのある国の施設ですが、両施設ともかなり老朽化が進んでいた上に、駐車場が少ない、2階建てだったとはいえエレベーターも無いなど、不便であったことは否めませんでした。新庁舎は、それらが解消されているので以前よりは利用しやすくなったことでしょう。ちなみに館内は1階と2階がハローワーク銚子、3階が会議室、4階が銚子労働基準監督署となっています。銚子駅からはちょっと離れてしまいましたが、公共施設が新しくなるというのはいいですね。